

学校だより **彩雲燦燦**

令和6年2月27日
文責：校長 原 佳織

世界で認められた指揮者である小澤征爾（おざわせいじ）さんが、令和6年2月6日に88歳でお亡くなりになり、大きな話題となりました。小澤征爾さんが指揮するオーケストラが奏でる音楽は、とてもドラマチックで音楽が目の前に浮かび上がってくるように感じます。そして、情熱的な指揮ぶりがオーケストラのメンバーに憑依しているかのようにも感じます。彼がつくる音楽のすばらしさは言うまでもありませんが、私は彼がライフワークのようにしていた若い音楽家を育てている姿にも心を動かされていました。そのような小澤征爾さんのことを私が知ったのは中学生の頃でした。クラシック音楽界で「世界の帝王」と称されていたベルリンフィルハーモニー管弦楽団の芸術監督であるヘルベルト・フォン・カラヤン、アメリカのニューヨークフィルハーモニックの指揮者であるレナード・バーンスタインなど名だたる巨匠に師事した後、ボストン交響楽団の常任指揮者としてのみならず、世界各国のオーケストラを指揮し大活躍している真っ最中でした。小澤征爾さんが指揮する音楽は躍動感にあふれていて、私はとても魅力を感じていました。それまであまり聴いたことがなかったマーラーという作曲家の曲にしばらく心酔していたのも、彼が指揮した「大地の歌」を聴いてからだったことを覚えています。ただ、一番心をつかまれたのは、彼の著書である「ボクの音楽武者修行」を読んでからでした。彼の周囲の人は反対していたようですが、何のあてもないなかになかなかのお金とスクーター、そしてギターをもって貨物船で単身フランスに渡っています。そして、たくさんの人と出会いながら、自身で自分の道を切り拓き、いくつものコンクールで結果を出す様子は、私にワクワク感を与えてくれました。きっと多くの困難があったはずですが、それよりも自分のやりたいことに純粋に向き合い、大いに楽しみ、そして目標に向かって突き進む様子から多くのエネルギーをもらいました。そのような小澤征爾さんの生き方に心を動かされ、それまで以上にたくさんの音楽を聴くようになったと思います。小澤征爾さんを通して感じたこと、それは「自分のやりたいこと」「なりたい自分」があるというのは、自分に大きな力を与えてくれるということ。どんな小さなことでもいいから「やりたいこと」や「なりたい自分」を掲げながら、思い切り楽しんで進んでいくことがすばらしいということ。私たちはもうすぐ、令和5年度から令和6年度というステージへ進むこととなります。次のステージに向けて、今の自分からステップアップし「自分のやりたいこと」「なりたい自分」を少しずつ少しずつ育てておいてほしいです。



本年度最後の学校運営協議会を行いました！

2月8日（木）に本年度第4回学校運営協議会を行いました。令和5年度のコミュニティ・スクール推進の進捗状況について、本校の学校運営協議会委員の皆様にご評価いただいた結果（右資料）をお知らせします。いずれも4段階で評価しています。特に、観点②について合同防災教室が「東中の宝」とあるというコメントに次年度に向けて勇気をいただきました。また、挨拶運動や家庭学習強化週間の設定も充実してきていることもわかりました。さらに小中連携を推進することが東中ブロックとしての課題であり、この課題解決のため取組を検討していきます。

	観点	評価	主な意見
①	学力、体力・運動能力、豊かな心、食を営む力を高める取組を推進している	3.4	・小中連携挨拶運動の実施、小・中同時の家庭学習の重点期間の設定など、小学校と中学校で連携した取組が行われている。 ・挨拶運動を増やしたいと思う。 ・小中学生が自然と触れ合う機会を増やすことが大切。
②	子どもたちや保護者を地域行事に参加・参画するように工夫している	3.6	・まほろば活動で地域の行事に積極的に参加する生徒の姿はほほえましく感じる。 ・地域と一緒に取り組んでいる合同防災教室は東中の宝だと思う。 ・地域では中学校の活躍を期待している。
③	家庭の教育力向上のため学ぶ場・活動の場の工夫を推進している	3.4	・教育力向上については、東中の水準を見ると家庭の中での協力体制がおおむねできていると考えられる。 ・保護者が学校に来る機会をできるだけ多く設定しようとしている。 ・小中連携の家庭学習の定着はいいと思う。
④	地域コーディネーターとCS担当が学校と家庭、地域をつなぐ役割を果たしている	3.1	・各種連携等迅速スムーズにできている。 ・地域と学校をつなぐ役割に大変感謝している。

「先輩になるんだ」という気持ちにあふれていました！

1月30日（火）に太宰府南小で、2月19日（月）に太宰府東小で「放課後子ども教室」が行われました。中学校から陸上部の皆さんと1年生の有志が参加しました。太宰府南小では、小学生に勉強を教えた後、一緒にオリエンテーリングをするなどして楽しい時間を過ごしました。太宰府東小では、フラワーアレンジメントを行い、困っている小学生に優しくアドバイスするなど先輩としての姿を見せていました。小学生と関わることは先輩として成長するための大きな経験となります。参加した生徒の皆さんの優しい表情がとても印象的であり、たくましさも感じました。これから太宰府東中学校ブロックとして、小学校とのつながりをもっと強いものにしていくことが生徒の成長につながると実感させられました。

